

東海地方の天候（令和6年5月）

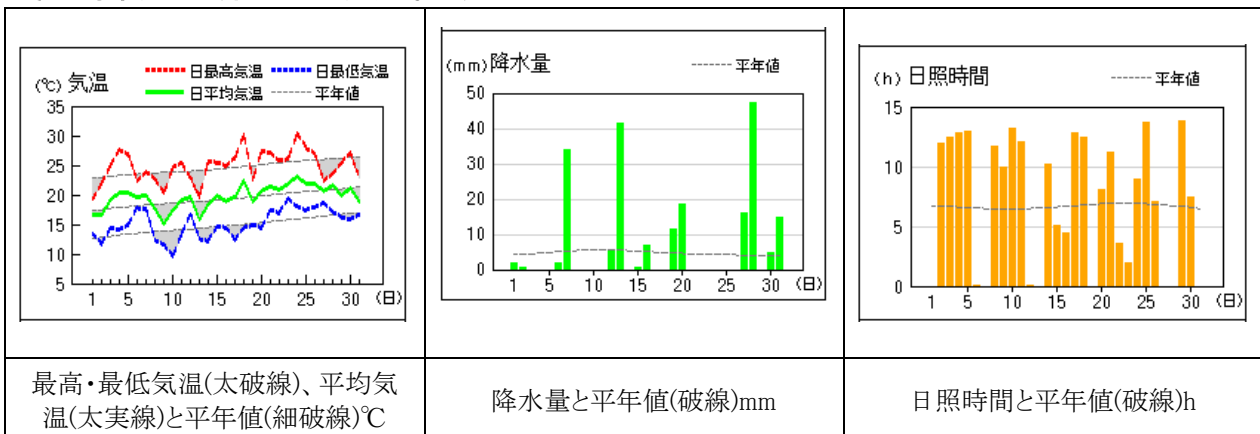
1 概況

天気は数日の周期で変化しましたが、上旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、中旬や下旬には低気圧や前線などの影響で大雨や荒れた天気となった日がありました。このため、月降水量は多くなりました。また、寒気が入り気温が低い日もありましたが、下旬を中心に暖かい空気に覆われやすい時期があったため月平均気温は高くなりました。

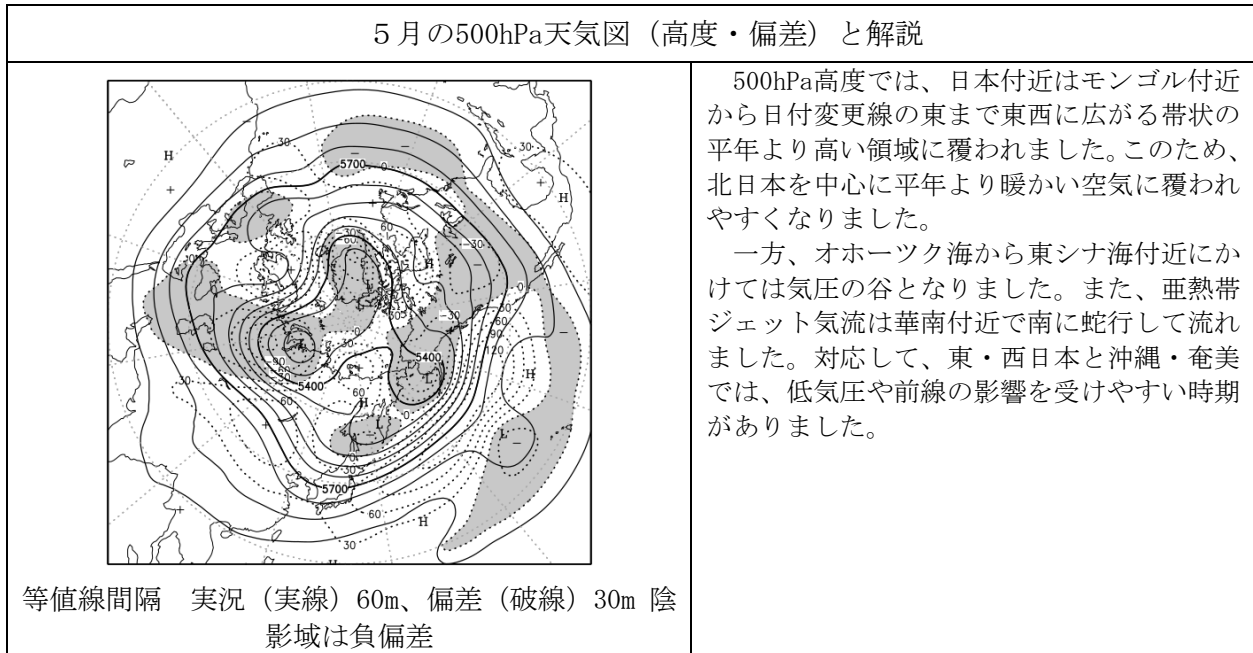
月平均気温は「高い」、月降水量は「多い」、月間日照時間は「平年並」となりました。

旬ごとの概況	
上旬	<p>天気は数日の周期で変化しました。低気圧や前線の影響で雨の降った日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、旬間日照時間は多くなりました。</p> <p>旬の平均気温は「平年並」、降水量は「平年並」、日照時間は「多い」となりました。</p>
中旬	<p>低気圧や前線と高気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変化しました。低気圧や前線の影響を受けやすく曇りや雨の日が多くなりました。このため、旬降水量は多くなりました。</p> <p>旬の平均気温は「平年並」、降水量は「多い」、日照時間は「平年並」となりました。</p>
下旬	<p>天気は数日の周期で変化しましたが、低気圧や台風、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。特に、28日は本州の南岸を低気圧が発達しながら通過し、広い範囲で大雨となりました。このため、旬降水量は多くなり、旬間日照時間は少なくなりました。また、暖かい空気に覆われやすかったため旬平均気温は高くなりました。</p> <p>旬の平均気温は「高い」、降水量は「多い」、日照時間は「少ない」となりました。</p>

参考 時系列図（名古屋地方気象台）



2 大気の流れの特徴



3 各地の気象台・特別地域気象観測所の実況

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)	階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級	
	(°C)	(°C)				(mm)	(%)		(h)
静岡	19.9	(+0.7)	409.0	(190)	+*	12	185.7	(97)	-
浜松	19.9	(+0.6)	357.5	(186)	+*	12	207.0	(101)	○
御前崎	19.2	(+0.6)	293.0	(137)	+	12	199.8	(98)	○
三島	19.6	(+0.6)	335.0	(211)	+*	14	177.0	(96)	-
石廊崎	19.0	(+0.6)	220.0	(124)	+	13	202.2	(102)	○
網代	19.2	(+0.7)	266.5	(154)	+	14	180.8	(98)	○
名古屋	19.7	(+0.3)	206.5	(137)	+	12	218.2	(106)	○
伊良湖	19.1	(+0.3)	222.0	(136)	+	12	209.9	(102)	○
岐阜	19.6	(+0.2)	239.0	(124)	+	13	212.6	(104)	○
高山	15.9	(+0.3)	282.0	(225)	+*	9	190.9	(101)	○
津	18.9	(-0.1)	163.0	(97)	○	13	201.2	(102)	○
上野	17.7	(-0.2)	159.5	(114)	+	13	197.5	(108)	+
尾鷲	18.9	(+0.2)	345.0	(96)	○	12	187.4	(103)	○
四日市	18.2	(+0.2)	197.0	(104)	○	13	198.2	(102)	○
東海地方	----	(+0.4)	----	(145)	+	--	----	(101)	○

注) 1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+-」に*を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

3. 値の横に「や」がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができる。]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

4 令和6年（2024年）5月の順位更新表

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm（西暦年）	開始年	平年値 mm
2	高山	282.0	225	341.0（2011）	1899	125.2
	三島	335.0	211	407.0（1963）	1931	158.7
3	浜松	357.5	186	376.1（1963）	1883	191.9
	静岡	409.0	190	458.2（1963）	1940	215.3

参考資料 平年並の範囲（東海地方）

5月	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
上旬	+0.1 ～ +0.4℃	53 ～ 131%	90 ～ 107%
中旬	-0.5 ～ +0.6℃	62 ～ 116%	99 ～ 117%
下旬	-0.4 ～ +0.5℃	57 ～ 125%	94 ～ 112%
月	-0.3 ～ +0.3℃	82 ～ 105%	94 ～ 107%

資料の解説

- ・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。
- ・「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めています。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現します。